

令和3年度  
事務事業評価シート 【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
01	02	01	06	124130	男女共同参画推進事業費	
総合計画	分野	04	地域づくり	政策	02 参画・協働のまちづくり	
	施策	03	男女共同参画の浸透			
目的	男女が社会の対等なパートナーとしてまちづくり等に参画できるよう男女共同参画の浸透を図る。					
対象	市民					
意図	男女共同参画に対する周知と理解が図られることにより、男女が社会の対等なパートナーとしてまちづくり等に参画している。					
事業概要	意識啓発講座の開催 612千円 学習講座、DV防止セミナー、ワーク・ライフ・バランスセミナー、LGBTセミナー等の開催（9回） 男女共同参画審議会の開催 32千円 男女共同参画基本計画に関する事項及び施策の基本的事項・重要事項の調査審議（1回） 花巻市地域婦人団体協議会への補助 700千円 男女共同参画社会の実現に向けた活動を推進する団体及び人材の育成					
市民参画の有無	男女共同参画基本計画は参画対象					
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託
活動指標		単位	区分	R02	R03	R04
1	講座・フォーラム等の開催回数	回	計画	13.00	13.00	
			実績	6.00	9.00	
2	広報紙等による情報の提供回数	回	計画	15.00	15.00	
			実績	35.00	22.00	
3			計画			
			実績			
成果指標		単位	区分	R02	R03	R04
1	職場や学校・地域など身のまわりで男女の平等が図られていると思う市民の割合【まちづくり市民アンケート】	%	目標	52.50	55.00	
			実績	41.00	41.20	
2	審議会委員等に占める女性の割合	%	目標	36.30	37.50	
			実績	28.80	28.10	
3			目標			
			実績			
成果指標の達成度		目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
指標1については、学校での男女混合名簿の使用等により、学童期からの男女平等に対する意識づけや啓発が広まってきているものの、職場等ではコロナウイルス感染症の影響により、全国的に女性の就業率が高い業種の業績が低下し、雇用にも影響があったと考えられるほか、地域等では固定的な性別役割分担や無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）の解消が進まないこと等が、男女平等の意識に繋がらない要因と考えられる。 指標2については、審議会委員への就任を条例等で規定している職、登用する専門分野、団体のポストに就任している女性の割合が少ないことが要因と考えられる。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	花巻市男女共同参画推進条例の規定により、市は基本理念にのっとり、男女共同参画の推進に関する施策を総合的に策定し、及び実施する責務を有すると規定されている。
	妥当である	
	見直し余地がある	
	妥当でない	
有効性	成果の向上余地	事業の情報提供や講座などの企画を工夫することにより、参加者の増員が期待できることから成果の向上が期待できる。
	向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	事業費は、事業を推進するための必要最小限の経費であり削減の余地はない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
	どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	男女共同参画に係る事業は、すべての市民が対象であるため受益機会と費用負担の不公平はない。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価	今年度の振り返り	男女共同参画に係る講座等の開催及び広報紙等による情報提供の実施により、市民への周知及び意識啓発を進め、男女共同参画の浸透を図った。講座等の開催回数は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催が難しかったが、昨年度の反省を生かし、参集型ではなくオンライン方式で実施するなど手法を変更し可能な範囲で開催することができた。
	次年度に向けて	引き続き男女共同参画についての周知及び意識啓発を図るとともに、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行った上で講座及び研修会等の事業を実施する。また、これまでの取組の成果と課題の評価を行い、花巻市第3次男女共同参画基本計画の策定に資する。